

## 九十九島と養殖漁業

マルモ水産 代表取締役 末竹 邦彦さん



九十九島で養殖といえば、フグ、ハマチ、ヒラス、タイ、真珠、カキなど有名です。いろんな魚介類の養殖が営まれていることから、九十九島は「豊かな海」と呼ばれています。また、九十九島の海は漁業者をはじめ、住民に生活の糧や場を提供してくれる「恵みの海」でもあり、特に養殖漁業とは切っても切れない仲と言えます。

養殖漁業は生産量が毎年安定しているわけではなく、市場での商品の取引相場も関係するので難しい職業です。環境の変化も大きく影響します。平成5年に急激に水温が変わり、養殖産業は転換期を迎えました。エルニーニョ現象やラニーニャ現象などによる気象条件の変化が赤潮による魚やカキ、真珠の大量死を招き、養殖産業に大きな影響をもたらしているといわれています。一方で九十九島の養殖は年々技術が進歩しており、平成24年と25年には養殖トラフグの生産量が日本一になるまで成長することができました。

このように九十九島の養殖の歴史は「栄枯盛衰、繁栄と衰退を繰り返しながら今日に至っています。九十九島の養殖は素材としての商品力が素晴らしいものが多いのも特徴で、全国に販売され、高い評価を得ています。近年は首都圏での評価が高まってきており、「九十九島ブランド」も確立しつつあります。

九十九島の海は、私たち漁業者にさまざまな恵みを与えてくれる素晴らしい海です。

☎観光課 ☎24・1111

# 澁新

感動体験  
L I V E

ことしのテーマは「澁新(はつしん)〜感動体験LIVE〜」。新たな時代の始まりとして、日本最長のアーケード商店街を踊り抜ける「1kmチャレンジパレード」や踊り子と観客が一緒に楽しめる「サタデーナイトフィーバー」などの新企画も開催します。



## 第21回 YOSAKOI させぼ祭り

前夜祭 10月19日(金) 12時~21時 本祭 20日(土)、21日(日) 9時~20時  
名切お祭り広場、九十九島パールシーリゾート、させぼ五番街、海上自衛隊倉島岸壁など市内13会場

※気軽に参加できる一般審査員、ボランティアスタッフなども随時募集しています。申し込み方法など詳しくは同祭りホームページをご覧ください。

問い合わせ YOSAKOI させぼ祭り実行委員会 ☎33-4351 <http://yosa.jp>

## 中国・瀋陽市で領事館の仕事を経験中です

在瀋陽日本国総領事館 派遣職員 太田 拓哉さん



留邦人サポートと査証

はじめまして。私は佐世保市の職員で、本年4月から外務省の在瀋陽(しんやう)日本国総領事館に派遣されています。中国・瀋陽市は中国東北地方に位置する遼寧省(りょうねい)の省都であり、東北の中心をなす都市です。中国の東北地方はかつての満州地方に当たり、瀋陽の当時の都市名である奉天(ほうてん)に聞き覚えのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

佐世保市と瀋陽市は2011年に友好交流都市を締結しました。瀋陽市は「瀋陽故宮」や「北陵」など世界文化遺産に登録されている史跡が複数あり、実際に訪れてみると中国の歴史の重みを改めて感じました。また、瀋陽駅はかつて日本人が東京駅を模して設計したものであり、日本との深いつながりを感じます。

さて、現在の職場である領事館での仕事ですが、領事館の役割としては大きく三つあります。一つは外交、それから在留邦人へのサポート、そして中国人への査証発給です。

業務を担当しています。外交については、中国関係者との会談や行事の開催・参加などがあり、私も同行する機会が何度かあります。また、佐世保市をはじめ全国の自治体からの訪問がある際には、連絡係として調整等も行っています。

邦人サポートに関しては、旅券や各種証明書の発行等が中心で、市役所の窓口業務のイメージに近いかもしれませんが、このほか、邦人が事故や事件に巻き込まれた際の対応や救援に向かうのも仕事のひとつです。

そして、現在の担当業務の中で最も多くを占めているのが中国人への査証(ビザ)の仕事です。観光や商用などで日本へ渡航を希望する中国人に対して、査証発給の可否を審査しています。申請件数も非常に多く、毎日相当な量の審査を行いながら、訪日中国人の増加を体感しています。

領事館の仕事のほとんどが未経験であるため、まだまだ余裕はありませんが、仕事に慣れて落ち着いてきたら、中国東北地方のいろんな場所を訪れたいです。

☎国際政策課 ☎24・1111